

令和元年6月7日  
土地・建設産業局 地価調査課

## 主要都市の地価は97%の地区で上昇基調

～令和元年第1四半期の地価LOOKレポートの結果～

主要都市の高度利用地等(全国100地区)における平成31年1月1日～平成31年4月1日の地価動向を調査した地価LOOKレポートによれば、主要都市の地価は全体として緩やかな上昇基調が継続(上昇地区数は引き続き97地区)。

- ◆上昇地区数の割合が5期連続して9割を上回る。但し、緩やかな上昇(0～3%の上昇)の地区が68地区。
- ◆住宅系2地区(宮の森(札幌市)、天王寺(大阪市))で上昇幅が拡大し、比較的高い上昇(3～6%の上昇)となった。

### 【上昇の主な要因】

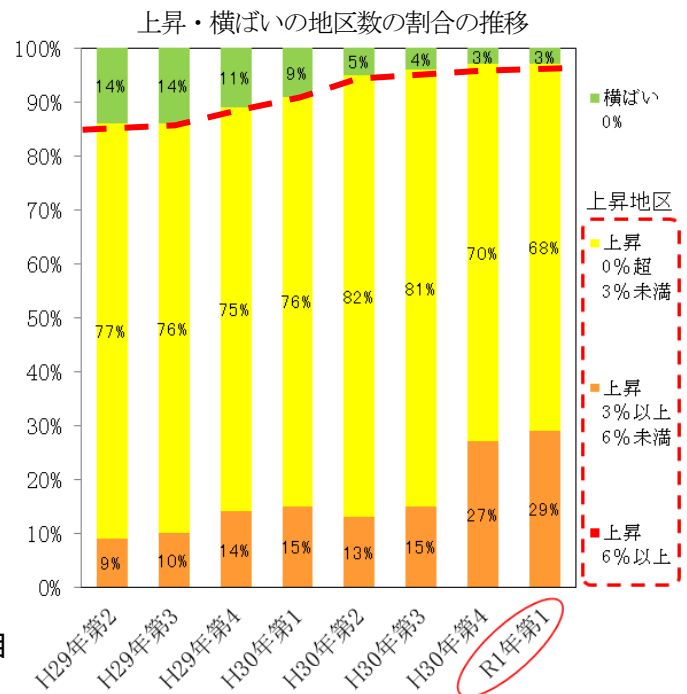
景気回復、雇用・所得環境の改善、低金利環境の下で、  
 ■空室率の低下、賃料の上昇等堅調なオフィス市況  
 ■再開発事業の進展による魅力的な空間・賑わいの創出  
 ■訪日外国人の増加による旺盛な店舗、ホテル需要  
 ■利便性の高い地域等での堅調なマンション需要  
 上記要因により、オフィス、店舗、ホテル、マンション等に対する不動産投資が引き続き堅調。

### 【前期から変化した地区】

- 上昇幅が拡大(0～3%→3～6%)(2地区)  
(札幌市)宮の森 (大阪府)天王寺

### 【比較的高い上昇を示した地区】

- 3～6%の上昇(29地区)  
 (札幌市)駅前通、宮の森 (仙台市)錦町、中央1丁目  
 (千葉県)千葉駅前 (東京都)歌舞伎町、渋谷  
 (横浜市)横浜駅西口 (名古屋市)太閤口、伏見、久屋大通駅周辺、金山  
 (京都市)京都駅周辺、河原町、烏丸  
 (大阪府)西梅田、茶屋町、中之島西、北浜、心斎橋、なんば、新大阪、福島、江坂、天王寺  
 (神戸市)三宮駅前 (福岡市)博多駅周辺  
 (熊本市)下通周辺 (那覇市)沖縄県庁前



※地価LOOKレポート(主要都市の高度利用地等の地価動向報告)とは、国土交通省が、主要都市の高度利用地等を対象に、四半期毎の地価動向を調査し、先行的な地価動向を明らかにするもの。調査対象は全国100地区で、内訳は以下のとおり。調査結果の詳細は、以下のHPで公開。

- 調査対象内訳：東京圏43地区、大阪圏25地区、名古屋圏9地区、地方圏23地区
- ホームページ：[http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo\\_fr4\\_000045.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_fr4_000045.html)

### ＜お問い合わせ先＞

土地・建設産業局 地価調査課 地価公示室  
 主任分析官 時津(内線30366)、分析官 堀井(内線30367)、小川(内線30323)  
 (代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8379 (FAX)03-5253-1578